

イベント実施報告書

作成日：2026年6月2日

広報NO：中部IT協広報-1168

委員会	青年部委員会	担当者：木村 (WEBIMPACT, INC.)
イベント名	「プレイヤーからリーダーへ」人材マネジメントと採用の本質を 今話題の「識学」から学ぶ	
開催日時	2026年05月28日（木）14:00～16:30	
開催場所	オルクドール会議室@大名古屋ビルディング31階	
開催概要	識学のセミナー講師を迎えて、組合企業の経営層ならびに次世代のリーダー層を招き、企業活動における組織運営の在り方を学んだ	
開催内容	5月28日（木）16:30から 57名/応募62名（懇親会参加35名） 当日（5月28日 14:00～16:30迄）「識学」セミナーの開催を実施 前半は、識学の池田様より、「識学」というスキームにおいて組織づくりとそれらを形作るうえでの人事評価について以下4点のお話を頂いた。 #1). 組織の統制を保つためのルールづくり、能力に依らない姿勢のルールと戦略実行に欠かせない行動のルール #2). 組織が機能するための組織図とその評価、組織図通りに役割と権限を与えることによるレポートラインと責任を明確化さらには、評価への落とし込み、また指標は3～5項目程度シンプルなものとし、それらを定量化し上司と部下の目線合わせをすべきこと。 #3). 組織の運用における週次会議、会議は過去の報告の場ではなく、現状と進捗から最大限未来への約束の場とするべきこと。 #4). 採用の選抜における観点、具体的には、能力 < 組織適用 など8つの評価アセスメントとするなど具体的なポイントに基づいた手法の紹介などいずれも実践的な内容について講演を頂いた。 後半は、識学を自社に導入したことによる組織変革をテーマに 株式会社アイガ坂井様を迎え講師の池田様とのセッショントークセッションを実施した。 同社のプログラム導入に伴う社内反応（ハレーション）、や、社長自身が直接現場に口を出さないことで楽になる＝メリットや歯がゆさ＝デメリットなどのエピソード交えて、同じ組合メンバーの立場で、講師の池田様との親交を交えながらアットホームな感じで楽しく講座を進行をいただいた。 一方で参加者方からは、人事評価については常に一定の割合で評価が固定化してしまう問題をはじめ、それらの評価項目や指標の設定の難しさ、さらには、会社（上司）との目線合わせにおける共通キーワード「互いの成長」というポイントのみで、組織を編成しドライブすることへの疑問を指摘いただくなど、全体を通して、意義深い意見交換の場ともなり、と アンケートにより、今後青年部に期待した。	

今後のセミナー・視察に関する要望カテゴリ別集計

カテゴリ	集計数
AI・最新技術	17
人材育成・研修・指導	19
産業・地域交流	3
特になし・その他	16
経営・リーダーシップ・財務	10
環境・業務効率	5

